



「不屈」No603 付録
埼玉版 (No429)

治安維持法犠牲者
埼玉県本部

〒330-0063

さいたま市浦和区高砂
2-3-10 黒澤ビル3B

電話・Fax 048-824-0094

chian2022@gmail.com

<https://www.fukutsu13.com/>

郵便振替 00110-7-83245

埼玉国賠同盟「創立50周年 記念の集い」を成功させ、 更なる同盟運動の前進を

第59回県本部総会

国賠同盟埼玉県本部第59回総会が、8月24日(土)午後1時30分から、浦和コミュニティセンターで40名が参加して開催されました。小池莊市副会長が開会の挨拶を述べ、この1年間で逝去された会員を偲び黙祷を行ったあと、議長に大澤辰雄、渡辺喜久男両常任理事を選出し、議事に入りました。

最初に、梅村さえ子元衆議員が「情勢と同盟の役割」と題して20分の講演(ホームページにアップしましたのでご覧ください)を行いました。次いで、二つの団体(埼玉ALLA、埼玉連)の代表の来賓あいさつの後、加藤ユリ会長が挨拶に立ち、いまの情勢は厳しいものがあるが、戦前との違いは「平和憲法」が憲法が敢然とある事だ。

憲法は死んでいない。そういう状況を作り出している「我々のたたかいかい」に確信をもつて、希望ある明日を創ろう」と呼びかけました。次いで、大野辰男事務局長が総会議案の核心に触れながら、①改憲を許さないたたかいかいと新しい政権をめざすたたかいかい(特別決議を採択、ホームページに掲載)②今期の国会請願行動を総括し新たな署名

のスタート③連続前進の会員拡大を定着させ、支部倍化にチャレンジする④新しい学習テキストの学習・普及、映画上映運動など顕彰活動の促進⑤支部結成にあたり幾つかの検討事項の提起⑥埼玉国賠同盟創立50周年記念の集い」成功の取組、以上の重点課題と強化方向が提起されました。次いで、決算報告と予算案の提案を澤野秀子財政部長が行った後、監査報告を佐藤信一、中里清志両監査委員が行いました。

休憩後、報告に対する質疑・討論が行われ、7名から発言がありました。特に新しい支部をつくった「さいたま市南部支部」、「上尾支部」からの発言は参加者の感動を呼びました。

そして、加藤ユリ会長が討論のまとめを行ったあと、提案された議案・会計報告に対する採決が行われ、全員の手拍で承認されました。

最後に、24年度県本部役員の提案が行われ全員の拍手で承認されました。閉会の挨拶を岩田治樹副会長が述べ会議が終了しました。なお、総会には12団体から祝辞、メッセージが寄せられ会場に掲示されました。新体制は、4ページ下段に掲載しています。

「埼玉国賠同盟創立50周年 記念の集い」の成功を

治安維持法研究の第一人者
荻野富士夫氏が記念講演

「治安維持法」現代への警鐘
日時..10月26日(土) 13時半
場所..さいたま共済会館5階
会費..3千円(記念冊子付)

「埼玉合唱団」出演、軽飲食も出て
交流・懇親タイムを設けます

*詳細は同封のチラシをご覧ください。
*定数百人、参加希望者はお早めにお申し込みください

新学習テキスト 好評 発売中

1冊 500円、注文は県本部まで



新企画
第3回戦争を語り継ぐ
“私の戦争体験”

中国の人々をひどい目に合
わせた日本、幼いながらに感
じた加害の歴史

宮代町 加納 幸子

〈小学校2年の時中国華北に渡る〉

昭和6年に「満州事変」で満州
をわが物にした日本は、次の目標
として、華北から内モンゴルにかけ
ての「一帯」(北支)を支配しようと企
みます。北支に派遣されたのは軍
隊だけでなく、鉄道従事者も華北
鉄道を敷設するために派遣され
ました。私の父は鉄道省の大宮工
場に勤務していましたが、昭和14
年に単身で山西省に赴任しまし
た。2年の約束でしたが、戦争が泥
沼化したため延長され、昭和16
年私が国民学校2年生の時家族
と一緒に山西省に渡りました。

〈住んだ家、学校は中国から奪った
もの、ひどい扱いを受けた中国人〉

私たちが住んだ家は、四合院と
う中国の伝統的建築様式で建て
られた家で、街は重厚な城壁で
囲まれ、北と南に大きな門があり

日本人はフリーパスでしたが、当の
中国人は身分証明書を提示した
り、身体検査を受けないと出入り
できませんでした。時には態度が
悪いといつて、中国人が殴られたり
蹴飛ばされているひどい場面をよ
く目にしました。また、苦力と呼
ばれる人たちが数珠つなぎになっ
て鞭を持った監督に追い立てられ、
身体具合が悪く倒れると、使い
物にならないからと穴を掘って埋
められる話も聞きました。

〈中国の少女が恐れる日本兵〉

中国人と混住していた頃でも、ほ
んどお付き合いがないのが実情
でした。しかし、子どもの世界は違
いました。ある日「さっちゃん」と
私を呼んだ中国の女の子、私も嬉
しくて近づこうとした途端、さっ
ちゃんを家へ逃げ込んでしま
いました。「何でしょう？」とみたら
日本の兵隊さんが歩いていました。
その時の私にはわかりませんでした。
たが、戦後、山西省の女性たちに
対する旧日本軍による性暴力を
告発する映画「ガイサンシー」とその
姉妹たち」をみてよく理解でき、無
知を恥じて慚愧したものです。

〈八路軍兵士の生首を引き回す〉

ある日、生首を載せた戸板を担ぎ、賑
やかな音楽に合わせて町の人たちが練り
歩いているのです。夜も眠れない位ショッ
クを受けました。後で聞いたら八路軍(中
国共産党軍)の兵士を捕まえたという事
でした。八路軍のことは聞いていました
が、街は八路軍に襲撃されたことは一度
もありません。後で知ったことですが、太
行山脈の中に八路軍の根拠地があり、八
路軍を掃討しようとした日本軍が、地
利にたけた八路軍に攻め立てられた土
地だったのです。

これもあとで解った事ですが、八路軍は
市民に深く潜行しひそかに支持を広げて
いて、8月15日を境に城壁のいたるところに
一気に「蒋介石万歳!」「毛沢東万
歳!」とポスターを貼り出せたのは、すご
い力があつたのだと、戦後、大人になつて
思いました。

〈寛容だった中国人の心の大さに感服〉

ひどい目に合わせた中国人の人たちから、
戦後、日本人がひどい目に合ったかと云
うと、私たちは襲撃されたことも全くあ
りません。おかげで翌年の夏さいたま市
の家に帰ってくることができました。中国
人は辛抱強いというか、したたかで大っき
いなどつくづく思いました。そこを日本が
土足で踏み込んでどうにかしようとして
も出来るものではなかったと思いました。
そして、いま、加害の歴史に真摯に向き
合うことの重要性を感じています。(完)

熱風

「九月十四日、午後三
十分、ベットに手錠をくく
りつけられたまま絶命。二
十九歳だった」と、作家田
辺聖子が『道頓堀の雨に別れて以来
なり』に書いている反戦川柳作家鶴
彬の最期です▼鶴彬(本名、喜多一
二)は1909年1月生まれ、この九
月には86年前、年号で記せば昭和十
三年九月です。田辺は続けて鶴の句

「暁を抱いて闇にある蕾」を紹介し
ています▼田辺はこの本のなかで
「反戦作家小林多喜二の名はみな
人によく知られているが、同じく反
戦川柳作家で、思想犯として検挙
され獄死した鶴彬は、多喜二ほど
知られていない」と記し、「川柳とい
う文学ジャンルに、日が当たらない
ためであろうか」と▼小説家とし
ての多喜二、柳人であった鶴彬、二
人は当時の治安維持法体制のもと
で、思想弾圧の対象となり、ともに
二十九歳の若さで「絶命」させられ
ました▼文学という「言葉の影響
力・浸透力」をいかに戦争勢力が恐
れていたか、そしていまこそその力を
いっそう鋭いものにする努力を、と
思い至ります。(天)

埼玉県の戦前における

「社会進歩のたたかいと抵抗の歴史」

連載
第13回

川口を揺るがした関口工場大設備の完備、六、犠牲者を出さない
争議……一九二七(昭和二年)事、しかし、工場主は衛生設備のつ
八月から九月にかけて「関口製いては一定の改善を認めますが、そ
作所争議がおきます。関口製の他はゆずる気配を見せませんでし
作所は川口でも有数の鋳物工場た。そればかりか、四日後の二五日
で百十余名の労働者を有してい は一方的に休業日とし、集まった労
ました。工場主・関口倉吉は川 働者がおこつて氣勢を上げていると
口切つての資産家で、その資産は ころに待っていたかのように警察官
三百万円を越え、千五百余の貸 が乱入、一九人を検挙する暴挙に
家を持っていました。だが、町民 です。そして、ついに午後から争議
からはケチ倉と通称され、また、 決行となり、大争議へと発展してい
組合を頑として認めず労働者を きます。

虫けらのように働かせてもはば 労働者側は、連日の様に各地か
からない人物でした。こうしたな らの支援も広がり意気軒昂に闘い
かで、東京鉄工組合川口支部は ます。それに対し、関口工場側は、
関口製作所に四〇名の組合員を 寺尾争議団長ら二九名労組幹部に
組織します。工場主は、組合員 解雇状を送りつけるなど反撃にでま
を目の上の瘤として圧迫、「共和 す。そして、ついに、県から調停の意
会」という御用組合を結成して 向が伝えられ、組合も計画されてい
差別待遇を持ち込み攻撃しま した。必勝祈願デモ”を中止しま
す。県が示した調停案は、労組側の

八月二二日、関口分会は、次 主張をおおむね取り入れたもので
の六つの項目の要求書を出しま 一ヶ月余にわたる争議は解決に至
す。一、労働組合の公認、二、年 ります。

二回の定期昇給、三、賃金値上 関口製作所の争議における東京
鉄工労組の勝利は、文字通り、川口

を震撼させました。そして、川口町三千
名の鋳物労働者の団結をかけた闘争と
この争議の有利な解決は、東京鉄工川
口支部の組織的確立をもたらし、川口
鋳物業がもつともいみじらつた労働組合
である東京鉄工支部の存在を実力で容
認する結果になりました。(次号へ続く)

最後の「埼玉の戦争展」開く

8月11日「平和のための埼玉の戦争
展」が埼玉会館で開かれた。1984年
から毎年夏に開かれてきましたが、運
営側の高齢化や財政難で継続が難しく
なり、今回の41回目が最後となりまし
た。国賠同盟も創設当初から実行委員
会に参加し、「国賠同盟コーナー」を設
けて、戦争に反対した人々の肖像画も
飾り、「再び戦争と暗黒政治を許すな」
と訴え、多い

時は1万2千
筆の署名を集
めた事もあり
ます。今後は、
各地で行う戦
争展に、パネル
を貸し出すな
ど色々な形で
次世代に継承
していきたい。



国賠コーナーで児童に語る岩田副会長

同盟文芸

短歌

猛暑下で 訪問続ける 老同志

冷房車内で 映画企画す

春日部市 細谷 宣朗

秋立つも 夏の暑さの続きおり

熱中症警戒アラート今日も

宇都宮市 宮地 さか枝

俳句

夕立去り 再び鳴き出す 蟬の声

春日部市 浅子 薫衣

平和夏 戦終わりへ 奇北継ぎ

行田市 大野 辰男

卒寿越す 友と行進 終戦忌

さいたま市 小池 莊市

迎え盆つくつくほし鳴きははじめ

行田市 鈴木 みち

川柳

パー券は 献金と読む 裏表

さいたま市 小池 莊市

スパーに行けば値上げの物ばかり

春日部市 福家 駿吉

※一人一句とさせていただきます
※新投稿者大歓迎、締切は毎月25日

“終戦記念日” 宣伝行動

毎年終戦記念日に行う「治安維持法同盟の宣伝行動」、今年は県本部とさいたま市南部支部との共催で、浦和駅東口において、正午から1時間、ハンドマイクでリレー宣伝をしながら、中央本部作成のチラシ配布と署名行動を行いました。

最初に、マイクを握った県本部の大野辰男事務局長は、先ず「不戦の誓い」としての国賠署名の「協力」を呼びかけ、「国賠同盟」を自己紹介。そして、岸田首相の総裁選不出場をめぐる動きを解明し、とりわけ、憲法9条と自衛隊明記の狙いを鋭く告発、平和憲法を守る草の根からの国民運動の重要性を強調しました。リレートークでは、菅原明

さいたま市南部支部長、同役員の田中昌子さん、また、戦争体験者の91歳になる小室仁彌さんは、自ら体験された戦争の悲惨さと平和の大切さを生々しく語り、それに応え、署名に協力する輪がひろがる場面もありまし

た。



(訴える菅原明支部長)

8月の会員拡大は10名、「月目標」達成し、次期総会までに6百人目指し好スタート

8月の会員拡大は、新支部「さいたま市南部支部」の支部長が3名増やすなど県役員の奮闘で「月目標」10名を達成。死亡による退会が1名ありましたが9名の増勢で、県本部総会現勢が533名で確定されました。

先に行われた県総会が決めた、来年の第60回県総会迄の新目標「6百名会員実現」に向け、決意新たに頑張つて参りましょう。

国会請願署名推進コーナー

【個人署名】

(328筆)

高田哲郎 (小鹿野町) 53筆

矢島孝一 (本庄市) 58筆

澤野秀子 (川口市) 2筆

埼玉労働組合連合会 15筆

埼玉・8・15宣伝行動 18筆

平和のための埼玉戦争展124筆

国賠同盟春日部支部 43筆

同 行田・羽生支部 15筆

署名合計 (8月末現在) 538筆

個人署名 815筆

団体署名 6筆

待望の“上尾支部”が発足

8月10日、「上尾支部」の結成総会が開かれ、埼玉に7つ目の支部が誕生しました。加藤県本部会長、日本共産党平田みち子、「平和フォーラム」海老原直矢両市議会議員の来賓あいさつの後、中央本部の永島民男事務局長が「今なぜ国賠同盟か、国賠同盟の今日的意義」と題して講演をおこないました。総会は、規約や活動方針案、財政や役員案などを拍手で確認。「今こそ出番だ」と活発な討論も行われ、支部長に黒崎勇氏、事務局長に岩田治樹氏等を選出し終了しました。

第3回「支部活動学習交流会」にご参加を!

日時..9月21日(土) 13時半

場所..さいたま共済会館505

*永島民男中央事務局長が参加

「関東ブロック交流集会」

日時..10月14日、15日

場所..湯河原温泉のホテル

*山田朗(明治大学文学部教授・平和教育登戸研究所資料館館長)の記念講演予定

*参加希望者は至急連絡下さい

総会で選出された新しい県役員一覧です (50音順 ○印は新任)

会長 加藤 ユリ

副会長 (3名)

岩田治樹、小池莊市、○東山寿美子

事務局長、大野辰男

常任理事 (8名)

○赤岸雅治、○黒崎勇、澤野秀子、

○菅原明、橋本静修、福田美子、

福家駿吉、渡辺喜久男

理事 (25名)

浅子薫衣、畔上勝彦、生田功子、○

大久保 忠、○大澤辰雄、卯月武彦、

加納幸子、鯨井 洪、倉又孝夫、

権田 圭助、○酒井政治、○佐瀬恵子、

高橋勝彦、田中昌子、○中村邦司、

○藤野泰弘、細谷宣朗、本山修一、

前田則子、○宮川雅之、丸山芳枝、

水戸元次、望月たけし、柳澤 暁、○山本眞理

監事(2名)

佐藤信一、中里清志

顧問(2名)

高根賢一、矢島恒夫



月刊 不屈

1989年5月8日

第三種郵便物認可 付録

治安維持法 国賠同盟 埼玉県本部

創立50周年記念の集い

テーブル席で、不戦と50年の思いと未来を語り合う…
笑顔で軽飲食も、交流・懇親タイムも楽しみ！

待望の埼玉国賠同盟創立50周年記念誌「歴史に学び新しい明日へ」完成間近！

●埼玉県の戦前における「社会進歩のたたかいと抵抗の歴史」（秩父事件から終戦までの闘いの歴史を掲載）●年表（1866年から1945年）世界、日本、埼玉の動きを掲載。埼玉県の国賠同盟50年の歩み（1974年～2024年）、●埼玉県ゆかりの治安維持法等犠牲者の249名分の名簿をできるだけ詳しく第一次分として初掲載。各種資料も掲載。



治安維持法犠牲者国家賠償
要求同盟埼玉県本部 会長

加藤 ユリ

治安維持法 国賠同盟 埼玉県本部の活動にご協力、ご支援頂きましてありがとうございます。今年度の十月に、県本部は創立50周年を迎えます。また、来年は治安維持法ができて百年になります。先人の闘いの犠牲の上に今日の憲法を作り、闘いを継続してまいりました。しかし、今の自民党政治は、未曾有の大軍拡でくらしが壊されています。自民党政治を退陣させていきましょう。つきましては、ご案内のような「五〇周年記念の集い」を開催します。お忙しいとは思いますがぜひご参加ください。



治安維持法—現代への警鐘

小樽商科大学名誉教授

荻野 富士夫

治安維持法研究一筋、第一人者。1953年埼玉県蕨市（現久喜市）生まれ。1971年浦和高校卒、1975年早稲田大学第一文学部日本史学科卒。1987年から小樽商科大学勤務。2018年小樽商科大学名誉教授。専攻は日本の近現代史。研究・分野は、戦前・戦後の治安体制。著書「特高警察体制史」「昭和天皇と治安体制」「思想検事」「特高警察」「蘇る戦時体制」「治安維持法の歴史」全6巻、他多数

プログラム

*主催者挨拶

*荻野富士夫記念講演（30分）

休憩（集合写真撮影）

*祝いの歌声合唱・埼玉合唱団

*来賓祝辞

*50年誌発刊の紹介

*先輩・犠牲者遺族からの発言

10月26日 土

●とき 2024年 13時30分開会、16時30分閉会

●ところ さいたま共済会館501・502集会室

●申込 希望者はどなた様も参加できます。但し、事前申し込みが必要です。申し込み・問合せ先は、主催団体又は役員まで。

●会費 会費制。記念冊子付3000円
※夫婦割引有、2人で5000円



主催 “再び戦争と暗黒政治を許すな”治安維持法犠牲者国家賠償
要求同盟埼玉県本部・同「集い」実行委員会
〒330-0063 さいたま市浦和区高砂2-3-10黒澤ビル3B
ホームページ <https://www.fukutsu13.com/>
連絡 電話・FAX 048-824-0094、090-7639-6838（大野）